

# 組立機械の導入による生産ラインの一部自動化で、生産性の向上及び従業員の能力向上につなげる



特許も取得した国内唯一のゴルフクラブ自動組み付け機

## 株式会社ササキ

### 企業情報

〒322-0005 栃木県鹿沼市御成橋町2-2215 TEL:0289-60-2233 FAX:0289-60-2266  
URL: <https://sasaki-corp.com/> E-mail: [info@sasaki-kenma.com](mailto:info@sasaki-kenma.com)

代表取締役／佐々木 政浩 設立年／2004年  
資本金額／5,000万円 従業員数／52名

### 事業内容

●ゴルフクラブの製造(組立、プレス、精密加工、塗装、研磨、OEM事業)



株式会社ササキ

### 実施事業

ゴルフクラブのOEM生産における組み立てラインの高度化及び生産体制の強化の実現

## ニーズの多様化と、熟練工不足に対応するために

当社はゴルフクラブの設計から加工・組立・仕上げ・検査まで、国内及び海外の大手ゴルフクラブメーカーの製品をOEM生産しています。近年、メーカー側のニーズとして、製品の安全性、品質の向上、生産性の向上及び効率化、低コスト化など要求水準が高まっています。しかし現状では、ゴルフクラブヘッド(アイアン)とシャフトの組み立ては、手作業で1本ずつ行われ、メーカー側の要求する1日あたり1,600本の生産本数に対応できていません。

その背景には、旧型の機械が製造ラインの中心になっていること、そして、少子高齢化等による影響で若手人材の確保が年々困難となる一方で、ベテラン社員が定年を迎えるなど、技術の高度化に対応できる社員不足が挙げられます。精密加工の仕事は「熟練職人」や「男性の職場」的なイメージがありますが、人材の有効活用や働き方改革の面で女性社員に対する期待度は高く、品質を落とさずに誰にでも作業できる生産ラインの自動化が急務でした。



ゴルフ自動組み付け機導入以前、手作業で行っていた組立工程

## 製造元と共同開発した「ゴルフクラブ自動組み付け機」を導入

従来のゴルフクラブの組立作業はヘッド部・シャフト部・グリップ部を1本ずつ手作業で接着していました。ヘッド部とシャフト部の接着作業は「接着→自然乾燥→両面テープ装着」の工程が必要で、自然乾燥では条件によって上手に接着できない場合があります。また、接着剤が硬化するまで時間を要していたので、メーカー側の生産ニーズに応えるのが非常に困難でした。さらに、確実に接着剤が硬化したと思っていても品質管理でNG品になってしまうなど課題も多く、1時間あたり160本の生産が限度でした。

これらの課題に応えるために、接着作業の省力化・効率化を念頭に「ゴルフクラブ自動組み付け機」を導入し、製造元である株式会社柴山機械と共同開発した国内唯一の組み付け機で特許を取得しています。



機械の導入で一部の接着作業が自動化された

## 生産数が飛躍的に伸び、品質向上にも寄与

本事業でゴルフクラブ自動組み付け機を導入し、さまざまなテストトライを経て本格稼働したのは平成30年3月です。現時点の成果は効率化によって1時間あたり200本の生産を可能にしました。一定の温度で接着剤が硬化するためNG品を出すことがなくなり、乾燥時間もわずか数分に短縮できるなど、品質向上と時間短縮の両面から大きなメリットがありました。結果的に生産数は当初の目標数値である1日1,600本まで可能となり、現状の25%増しまで上昇し、当社が得意とする多品種・少量生産にも対応できるため、他社との差別化を図ることができました。

導入した機械は組立ラインに部品を置く際、向きを確認して並べるだけなので、高度な技術や専門知識は問いません。今後は組立作業への若手社員や女性社員の登用など、従業員の能力向上につなげていきたいと思っています。



出荷を待つゴルフクラブ

### Comment

代表取締役 佐々木 政浩

### ものづくりの底力を本拠地・鹿沼から世界へ

ゴルフクラブを生産するにあたり、部品を国内メーカーだけでなく海外メーカーから供給することも珍しくありませんが、小ロットから量産品までクオリティーの高い製品を数多く手がけてきた当社にとって、「オール・メイド・イン・ジャパン」は大きなこだわりです。加工研磨の技術を強みにゴルフクラブの企画開発から設計、生産までの一貫体制をさらに推し進め、提案型のサービスもできる唯一無二の製造業者として、新たなビジネスモデルを創出していきたいと考えています。

